

事業名		流域治水対策河川事業	自然環境の確保
事業担当機関		秋田地域振興局建設部	
工事期間		平成22年～平成27年	
実施場所		秋田市下新城	
事業概要	工事費	3,324百万円（H22～H26）	
	工事概要	河道掘削 L＝1,635m	
	事業の目的	新城川は河川断面が小さく、かつ蛇行が著しいため、毎年のように洪水氾濫により家屋や農地への浸水被害をもたらしていた。 平成19年に大規模な家屋浸水被害が発生したことを受け、この洪水に対応する断面（＝暫定断面）で河川を拡げる工事を進め、改修のスピードアップを図っている。	
環境配慮の内容	コンクリートブロック護岸の施工を、橋などの構造物や水衝部など必要最小限の範囲に限定し、それ以外は土羽法面としている。		
施工後の状況	工事区間については一定の治水効果が発現できた一方で、土羽法面には植物が繁茂し、魚類や鳥類などへの環境配慮も実現している。 今回工事区間から上流についても同様に整備を進めていく。		

図面、写真、説明



標準断面図(下流部)
S=1:100

